

Q10. 休職期間中の PBC 評価はどうなるのか。

A10. 休職期間中は PBC 評価の対象外ですが、年間を通じて 90 日以上連続して勤務し、11 月 14 日時点で通常勤務をしている社員においては、PBC 評価を実施します。

Q11. 休職期間 1～6 ヶ月は誰がどのようにして決めるのか。

A11. 本人の申請により、ラインマネージャーが判断して決定いたします。

Q12. 借上げ社宅に住んでいる場合、その取り扱いはどのようなになるか。

A12. Sabbatical Leave 期間中も継続利用が可能です。同じ物件に継続居住の場合、会社負担額、本人負担額ともに休職以前と変わりません。

Q13. 休職期間中に副業として他で働くことは可能か。

A13. 就業規則第 12 条規程のとおり、会社の許可を得ないで他に就業することは認められません。

Q14. 利用回数に制限はあるのか。(1 人何回まで取得できるのか)

A14. パイロット期間中でもあり、現時点では複数回取得は想定していません。

Q15. 「月給の 30%支給」とは、本給の 30%を指すのか。あるいは本給および副主任手当/主任手当を合計した金額の 30%か。直近の控除前支給総額の 30%を指すのか。

A15. 本給および専門職手当の 30%を支給します。なお、住宅費補助については、100%支給します。

Q16. 休職期間の健康保険、厚生年金保険料、雇用保険料等の控除はどのように行うのか。

A16. 休職中も社会保険適用となるため、法に従って社会保険料が給与より控除されます。

Q17. 人数目標はあるのか。

A17. そのようなものではありません。

Q18. パイロット PGM の対象になぜ人事が含まれないのか。率先して導入すべきでないのか。

A18. 先ずはプロジェクトタイプの仕事を中心となる部門での評価を確認することとし、今回は GBS でパイロット的に実施することといたしました。

以 上